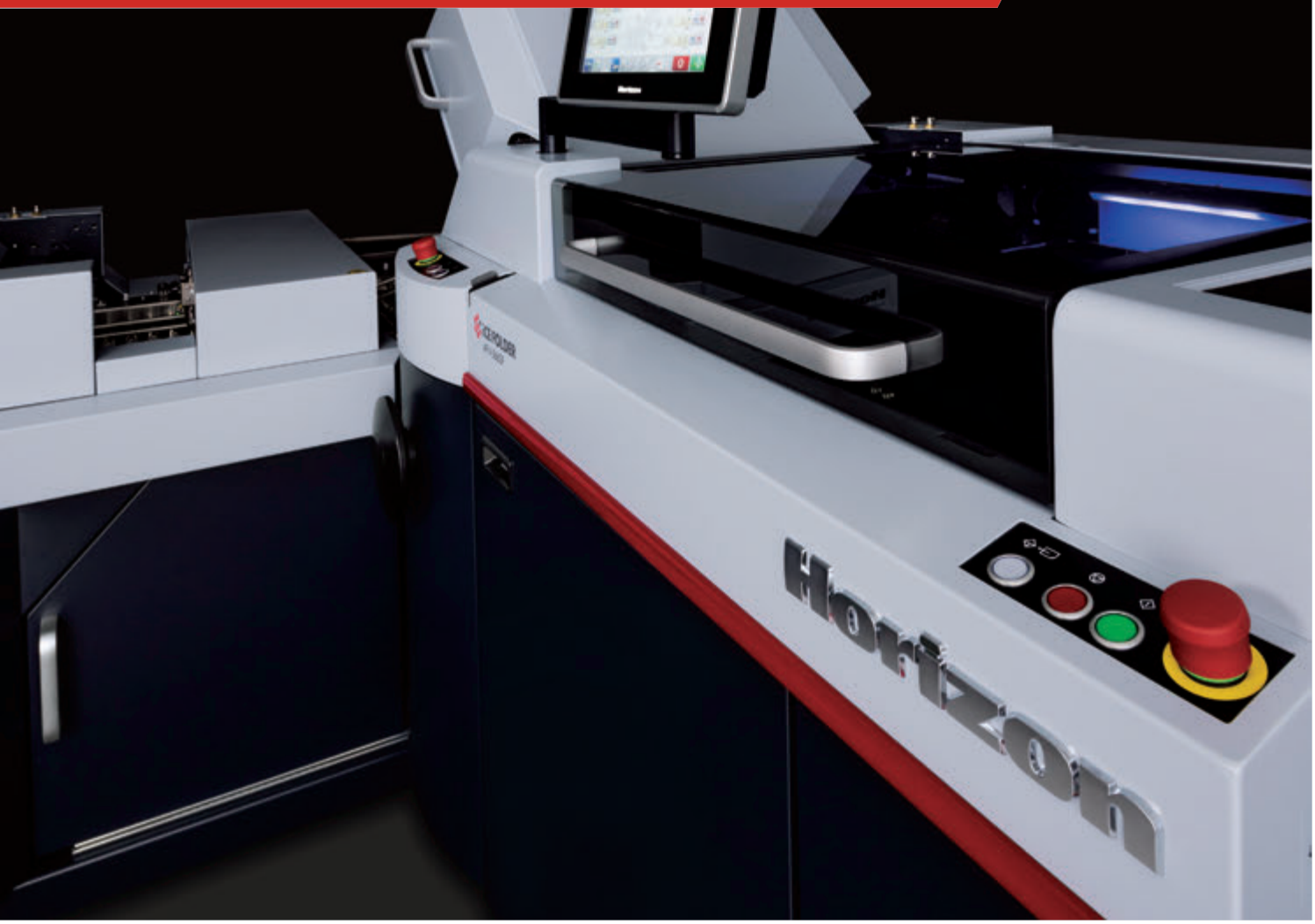
Horizon

iCE Series

紙折機

iCE FOLDER
AFV-56S / TV-56S シリーズ

AFV-566SF / 564SF / 566SA / 564SA • TV-566SF / 564SF / 566SA / 564SA



iCE Series 誕生

i = Intelligence 英知, Integration 統合, Interaction 対話
C = Connection 接続
E = Efficiency 効率

Connected をキーワードに製本工程の自動化を実現します。

iCE Seriesは、お客様へさらなる高付加価値を提供することを目指した次世代型商品群です。
ユーザーフレンドリーなインターフェースで作業性を向上させ、安定した生産性と自動化を高次元で追求しています。
さらに、ワークフローシステム「iCE LiNK」との連携により、先進的な作業環境を構築できます。

全自動調整機能を搭載
高品質で安定した折り精度を実現

さらなる自動化技術の向上によりセット替え時間の短縮と、
高品質で再現性に優れた折り精度を実現します。

特　長

操作性と折り精度の向上
用紙サイズや折形などをタッチパネルに入力することで、セットアップを自動で完了できます。スキルレスな操作性で熟練したオペレーターでなくても安定した折り精度を実現できます。

生産性の向上
さらなる自動化技術の向上により、セットアップ時間が短縮しました。また、ベルト速度は最高270 m/分の高速折りを実現します。

幅広いアプリケーションに対応
柔軟なシステム構成により、パンフレットやカタログ、DMなど、幅広い折形に対応します。バックルや加工刃などのオプションも豊富に取り揃えています。

視認性の向上
機械の稼働状況に応じて本体内照明色が変わるステータスライトを搭載し、離れた場所からでも稼働状況が把握できます。カバーオープン時は、機械内ランプとして点灯するため、機内照明として役立ちます。LEDライトの色は、タッチパネルから変更可能です。

ワークフローシステム
製本工程全体を最適化するホリゾンのポストプレスマネジメントシステム iCE LiNKとの連携が可能です。

※AFV-566SF/564SFは標準で搭載されています。詳しくは、弊社の営業までお問い合わせください。

製品動画はこちら

iCE FOLDER

多彩な折形に対応

タッチパネルに表示された折形を選択するだけで、様々な折形が自動で設定されます。
また、各ガイドの寸法値を直接入力することで、その他の折形も自在に設定可能です。
TV-56Sシリーズを接続することで、更に多くの折形が可能です。

	二つ折	外三つ折	外四つ折	外五つ折	外六つ折※1	外七つ折※1	片袖折	巻三つ折	巻四つ折	巻々四つ折※2	巻八つ折※2	開き観音折
平行1点式												

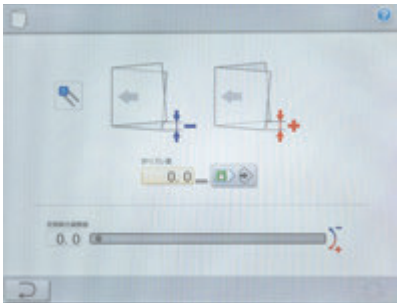
※1:AFV-564SF/SAでは加工できません。
※2:AFV-564SF/SAでは寸法値の入力が必要です。

高効率生産に繋がる新機能

省力化と生産効率を向上させるユニークな機能が満載です。

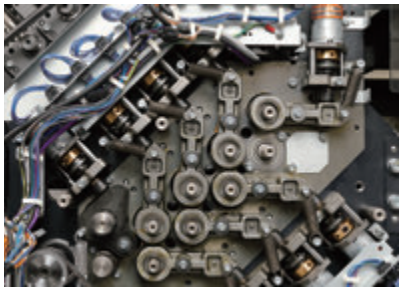
折りズレ調整の簡易化 AFV-566SF/SA, AFV-564SF/SA

- 画面に表示されるイラストに従って折りズレ量を入力すると、用紙搬送部の流し台定規の傾きやバックル寸法が自動で補正されます。勘や経験に頼ることなく高精度な折りを実現します。



ローラギャップ調整の簡易化 AFV-566SF/564SF

- 用紙を1枚挟むことで、用紙厚さや折形に応じて、すべてのローラギャップが自動設定されます。1箇所ずつ用紙を挟む必要がないため、オペレーターの負荷を低減し、セット替えの時間を大幅に短縮します。
- 各ローラギャップの微調整は全てタッチパネルからミクロン単位で行うことができます。



流し台定規の設定を自動化 AFV-566SF/SA, AFV-564SF/SA

- 流し台定規は、用紙幅に合わせて自動設定されます。用紙を吸引ファンで吸い寄せながら定規に沿って搬送します。
- 5箇所の独立した吸引ファンの風量は、用紙長さや紙厚に応じて自動設定されます。各ファンの風量は、用紙の状態に合わせた調整も可能です。設定はメモリー登録できるため、リピート作業時では再設定の必要がありません。

定規位置の自動化 TV-566SF/SA, TV-564SF/SA

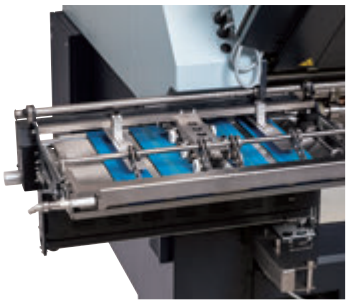
- 定規の位置は用紙幅に合わせて自動でセットされます。
- 円すい型ローラの採用により、用紙に合わせたボール調整は不要です。

筋入れ調整ガイド AFV-566SF/564SF

- 筋入れ調整ガイドにより、簡単な操作で筋入れ・ミシン位置を調整できるようになりました。
- 筋位置は0.1 mm単位での調整が可能です。
- 調整された筋位置はメモリー登録することが可能なため、リピート作業時のセット時間をさらに短縮します。

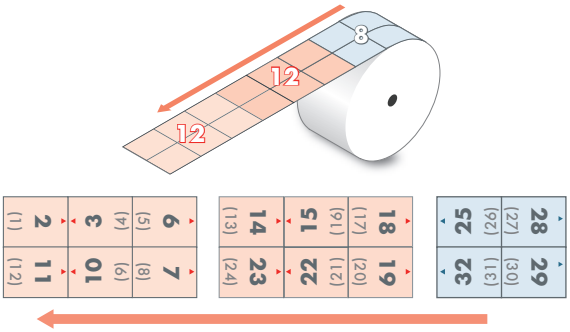
ブリッジコンベヤ BGV-56/BGV-56BBS オプション

- 2番機やプレススタッカーに、用紙をスムーズに搬送します。
- 筋位置の調整時は、スライドして待避させることが可能です。
- BGV-56BBSは2番機の後に折丁ブロック集積装置BBS-40を接続した場合、BBS-40の中央搬送基準に合わせて、用紙の送り込み位置を自動でセットします。



ダイナミックフォールド ダイナミックフォールドバックル装着時

- ロール紙から2種類の長さで切り出された用紙をバックルのデフレクタとストッパーを瞬時に切り替えることで、異なる折形に加工することが可能です。12ページ折りと8ページ折りなど、異なる折丁を連続して生産することができます。※オプションのインライン接続コンベヤDIFV-56が必要です。



操作性を高める自動化機能

● 自動化機能あり

自動設定箇所		機能説明	1番機		2番機	
			AFV-566SF AFV-564SF	AFV-566SA AFV-564SA	TV-566SF TV-564SF	TV-566SA TV-564SA
給紙部	サクションヘッド位置	基準棒の端が用紙の後端に沿うようにサクションヘッドの位置が自動でセットされます。	●	—	—	—
	テーブルガイド位置	用紙の奥側端をテーブルガイドに沿わせてセットすることで用紙幅に合わせて自動でセットされます。	●	●	—	—
	バキュームプレート	プレートに取り付けられた吸引ファンで用紙を吸い寄せ、流し台定規に用紙を沿わせます。吸引ファンの風量はタッチパネルから調整できます。	●	●	—	—
	流し台定規位置	バキュームプレートに取り付けられた吸引ファンで用紙を吸い寄せ、流し台定規に沿って搬送します。用紙幅に合わせて自動でセットされます。	●	●	—	—
	紙端ガイド	搬送される用紙の端が垂れ下がり、紙づまりが発生することを防ぎます。用紙幅に合わせて、用紙の端が通過する位置に自動でセットされます。	●	●	—	—
	傾き調整流し	流し台定規の傾きを±4.0 mmの範囲で調整し、折りズレ補正ができます。	●	●	—	—
	浮き上がり防止ガイド	用紙の浮き上がりを防止します。用紙幅に合わせて自動でセットされます。	●	●	—	—
折り部	ローラギャップ調整	使用する用紙1枚を1番機のギャップ調整部に挟み、測定するだけでローラギャップが自動計算され、セットされます。	●	—	●	—
	バックルストッパー	用紙サイズや折形に合わせて自動で設定されます。設定位置の寸法はタッチパネルで微調整できます。	●	●	●	●
	筋位置調整	下軸に付いている筋入れローラの位置がタッチパネルで設定した位置に自動でセットされます。	●	—	—	—
コンベヤ部	コンベヤ定規	コンベヤ定規に取り付けられたコニカルローラにより、用紙はこの定規に沿って搬送されます。用紙幅に合わせて自動でセットされます。	—	—	●	●
	浮き上がり防止ガイド	用紙の浮き上がりを防止します。用紙幅に合わせて自動でセットされます。	—	—	●	●

各部の機能説明

1 操作部

12.1インチの新型タッチパネルディスプレイにより、グラフィカルで直感的な操作が可能です。用紙サイズや折形などをタッチパネルに入力することで、本機が全て自動で設定されます。ジョブに応じた調整や設定内容は、最大999ジョブまでメモリー登録することが可能なため、リピートのジョブも効率的な生産が可能です。(従来機のAFV-56シリーズでメモリー登録したジョブを本機へ引継ぐこともできます。)

リモコン操作

ジョグダイヤル付き有線リモコンを標準装備しています。スタート、ストップ、テスト給紙は、タッチパネルから離れた位置でも操作できます。紙の流れを確認しながら、ジョグダイヤルを使用しての微調整も簡単に行えます。

2 サクションヘッド部

新開発のサクションヘッドにより、セットアップの簡易化と安定給紙を実現しました。サクションヘッドと横吹きエアー※で用紙のさばきとピックアップを確実に行います。サクションヘッドの高さやさばきエアーの風量は、用紙の状態に応じて調整できるため、幅広い種類の用紙を安定して給紙できます。

※用紙の高さに合わせてノズルの高さをスイングする横吹きキットSAB-56Vもオプションでご用意しています。

3 給紙部

高品質のポリウレタン製給紙ロータにより、用紙を傷つけることなく、高速給紙を実現します。エアーの吸引角度を調整できるため、安定した給紙が可能です。二枚差し検知には超音波センサーと光電センサーを標準装備し、用紙の条件によって使い分けが可能です。

超音波センサー

超音波の透過で検知するためベタ刷りなど、印刷の濃淡に影響を受けることなく、二枚差しを確実に検知できます。

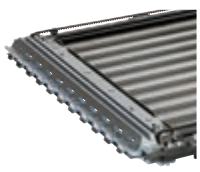
4 用紙搬送部 AFV-566SF / 564SF

独自設計の用紙搬送部は、静電気による搬送トラブルを抑え、薄紙から厚紙まで幅広い種類の用紙を傷つけることなくスムーズに搬送します。上面に追加したカバーで静音性と安全性が向上しました。各ガイドは自動設定されるためセット替えごとにカバーを開ける必要はありません。二枚差しが発生した場合は、クラッチが機能して用紙を搬送部で止めるため、ヤレ紙が発生しません。

5 バックル部

特殊加工されたバックルプレートは、摩擦を低減し、折りズレを防ぎます。2種類の異なるストッパー形状のバックルの他、用紙長さが異なっても瞬時に折形を変更できるダイナミックフォールドバックル※も取り揃えています。※オプション

自動シャッター全面デフレクタ
B-56V



櫛型デフレクタバックル
B-56C

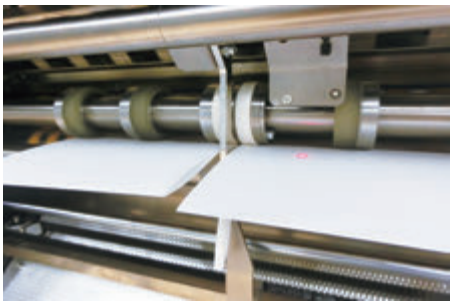
6 折りローラ部

ローラリンクに特殊無給油軸受を採用し、さらなる折り精度の安定化を実現しました。ウレタンとスチールのコンビネーションローラは、用途に合わせて発泡ウレタンと硬質ウレタンの2種類から選択可能です。

発泡ウレタンローラ
RL-566VS/RL-564VS

硬質ウレタンローラ
RL-566VH1/RL-564VH1

7 ミシン / 筋入れ加工部



アジロ折りやミシン目、筋入れ加工などの多彩な用途に応じた加工が可能です。高剛性の筋入れユニットにより、複数の筋も正確に入れることが可能です。溝裁ちによる二丁掛けやパンチミシン加工などもオプションで対応可能です。

※写真はオプションの溝立ちユニット AF-ST5N を装着しています。

筋入れ調整ガイド

筋入れ刃の固定位置を案内する機構によって、0.1 mm単位で筋位置の調整が可能です。筋位置は、メモリーに登録しておくこともでき、リピート作業に役立ちます。

8 ブリッジコンベヤ部

ブリッジコンベヤBGV-56のユニットを外側へスライドさせて、筋ローラの位置調整を容易に行うことができます。

9 円すい型ローラ定規コンベヤ部

1番機（AFV-56S）と直角に連結し、DM折りなどの複雑な折りに対応します。円すい型ローラ定規コンベヤは、用紙の幅に合わせて自動セットされます。

iCE FOLDER AFV-566SF + TV-566SF + PST-44L

オプション

給紙部・加工部用オプション

給紙部

SSK-56V 小サイズ給紙キット

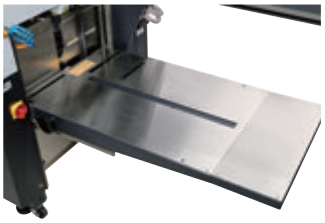
- 105 ～ 127 mm幅の用紙に対応可能です。給紙はサクションヘッドを使用せず、横吹きエアーを使用します。

SAB-56V 横吹きエアーキット

- 積載される用紙の高さに合わせてノズルがスイングするため、確実に用紙をさばくことが可能です。標準の横吹きエアーノズルよりもさらに安定した給紙が可能です。

LT-56V ロングテーブル

- 給紙棚とサクションヘッドステーを延長し、最大長さ1,100 mmの用紙に対応可能です。(標準は900mmまで)



CLF-56V クリアファイルオプション

- 連続回転する標準の給紙ロータとは異なり、給紙するタイミングのみ給紙ロータを回転させ、給紙後は瞬時に回転を止める間欠動作が可能です。給紙待機状態の時、給紙ロータの回転キズを防止できます。

P-56VJ / P-56VSH / P-56VX 真空ポンプ

- 真空ポンプは、用途に合わせて３種類から選択可能です。

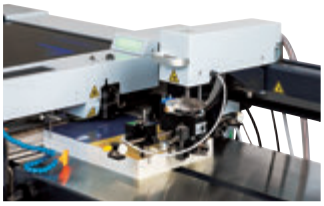
P-56VJ
標準仕様

P-56VSH
消音カバー付き

P-56VX
長寿命タイプ

AI-56V 集中エア装置

- 真空ポンプを使わずに、工場のエアー配管からの供給を受け取るための装置です。



給紙部 オプション一覧

● 後付け可能オプション

名称		形式	説明	AFV-566SF	AFV-564SF	AFV-566SA	AFV-564SA
選択	真空ポンプ	P-56VJ	国内専用	●	●	●	●
		P-56VSH	消音カバー付き (消音効果 - 6 dB)	●	●	●	●
		P-56VX	長寿命タイプ (ブレードの耐久時間が標準機の約３倍) ※使用条件により異なる場合もあります。	●	●	●	●
	集中エア装置	AI-56V	圧縮エア・省エネタイプ (※ポンプ不要)	●	●	●	●
小サイズ給紙キット		SSK-56V	最小幅105 mmの用紙を給紙できます。(標準：128 mmまで)	●	●	●	●
横吹きキット		SAB-56V	スイング式の横吹きエアーにより、さらに安定した給紙が可能です。	●	●	●	●
ロングテーブル		LT-56V	最大長さ1,100 mmの用紙を給紙できます。(標準：900 mm)	●	●	●	●
給紙区分けマークカメラ		IMC-56V	デジタル印刷向け、折ブロックの最終ページをカメラで検知します。	●	●	●	●
クリアファイルオプション		CLF-56V	給紙ロータを間欠動作させることで、クリアファイル表面の傷を防止します。	●	●	●	●
インライン接続コンベヤ		DIFV-56	ロール紙から切り出した用紙をAFV-566SF/564SFに搬送する装置	●	●	–	–
インターフェースユニット		IF-IT	Horizon製品に対応したHunkeler社やTecnau社製前処理機との接続時に必要なユニットです。前処理機とAFV-566SF/564SFの間で、スタート・ストップ・速度を連動させることができます。また、運転中に前処理機で読み取ったバーコードのジョブ情報から、AFV-566SF/564SFのセット替えを自動で行い、セット完了後はリスタートします。	●	●	–	–
バーコードリーダキット		BR-56DF	ダイナミックフォールドを行う際にQRコード (データマトリックス) を使用し、折形を切り替えます。	●	●	–	–

その他オプションや周辺機器も豊富に取り揃えています。詳しくは弊社の営業でまでお問い合わせください。

加工部

FP-56V / FP-56VP 前ミシンユニット

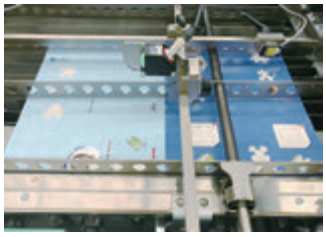
■ 紙折り加工を行う前にミシン目を入れます。高精度刃受けドラムを使用しているため、マイクロミシンでも精度の高い加工が可能です。オプションでジャンピングミシン加工にも対応可能です。

GFB-56V 観音折バックル

■ 自動設定のストッパーを備え、簡単な調整で品質の高い観音折が可能です。

IC-56V-U / IC-56V-L 紙面チェッカー

■ あらかじめ記憶させた印刷物の一部の画像と給紙された印刷物を比較して、印刷ミスや積み間違いを検知します。



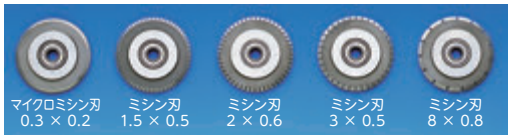
CGU-51 糊付け装置

■ 糊付け装置を装着することで、8ページや12ページの糊綴じ製本など付加価値の高い加工が可能になります。また、プラスチックを使用しない環境に配慮した紙製ファイルの製造も可能です。(紙製ファイルの抜き加工には、ホリゾンのロータリーダイカットシステムRDシリーズが最適です。)

加工刃

■ 様々な種類の刃をご用意しています。(写真は一例です。)

■ オプションのFP-56V/FP-56VP用加工刃 (写真は一例です。)



折り・ミシン加工部 オプション一覧

● 後付け可能オプション ○ メーカーオプション

名称		形式	説明	AFV-566SF	AFV-564SF	AFV-566SA	AFV-564SA	TV-566SF / TV-566SA	TV-564SF / TV-564SA
選択	発泡ウレタンローラ	RL-566VS	6枚バックル用折りローラ (8本)	○	–	○	–	○	–
		RL-564VS	4枚バックル用折りローラ (6本)	–	○	–	○	–	○
	硬質ウレタンローラ	RL-566VH1	6枚バックル用折りローラ (8本)	○	–	○	–	○	–
		RL-564VH1	4枚バックル用折りローラ (6本)	–	○	–	○	–	○
前ミシンユニット		FP-56V	折り加工を行う前にミシン目を入れることが可能です。(金属製の刃受けドラムローラ)	○	○	○	○	–	–
		FP-56VP	折り加工を行う前にミシン目を入れることが可能です。(脱着式、樹脂製の刃受けローラ)	○	○	○	○	–	–
ジャンプ前ミシンユニット		JM-AF	折る前に間隔を開けてミシン目を入れるためのミシンユニット	●	●	●	●	–	–
ジャンプミシンコントロールユニット		JM-C56V	JM-AF用のコントローラ	○	○	○	○	–	–
糊付け装置		CGU-51	8ページ、12ページ等の糊綴じ製本用装置	●	●	●	●	–	–
糊付け装置取付けキット		CGU-K56V	CGU-51用取付けキット	●	●	●	●	–	–
溝入り発泡折りローラ		RL-CG56VS	中央に糊逃がしの溝があるローラ	○	○	○	○	–	–
セグメント発泡折りローラ		RL-SEG56VS	任意の位置に糊逃がし溝を設定できる折りローラ	○	○	○	○	–	–
セグメントバックル		SGB-56V	任意の位置に糊逃がし溝を設定できるバックル	●	●	●	●	–	–
フラットデフレクタ		FD-56V	バックルで折りを必要としない箇所に取り付けるバックル	●	●	●	●	●	●
紙面チェッカー		IC-56V-U	カメラを使用して用紙の上面を検査し、用紙の積載ミスや印刷ミスを防止します。	●	●	●	●	–	–
紙面チェッカー		IC-56V-L	カメラを使用して用紙の下面を検査し、用紙の積載ミスや印刷ミスを防止します。	●	●	●	●	–	–
観音折バックル		GFB-56V	観音折を行う場合に必要です。	●	●	●	●	●	●
ブリッジコンベヤ		BGV-56	プレススタッカーを接続する時や、2番機を連結する時に必要なコンベヤです。	●	●	●	●	●	●
ブリッジコンベヤ		BGV-56BBS	直角2番機の定規位置に連動して送り込み位置が自動設定されます。	●	●	●	●	–	–
除電装置 (イオナイザー)		INZ-DIFV	インライン接続コンベヤDIFV-56から、用紙搬送中の静電気の発生を抑えることができます。	●	●	–	–	–	–
		INZ-56V	用紙搬送中の静電気の発生を抑えることができます。	●	●	●	●	–	–

その他オプションや周辺機器も豊富に取り揃えています。詳しくは弊社の営業でまお問い合わせください。

オプション

搬出部用オプション

LCVV-56 デリバリーコンベヤ

- 全幅のベルトにより、様々なサイズの用紙をスムーズに搬送します。
- 紙折機の搬出位置に合わせて高さ調整が可能です。
- 紙折機のタッチパネルでベルトの動作設定が可能です。

PSX-56 / PSX-56R パイル式プレススタッカー

- 大径ローラによる強力なプレスでフラットな折丁に仕上げます。あらかじめ設定した枚数を積み重ねて搬出するため、梱包作業を効率化できます。
- 操作パネルを装備しており、各設定の変更や、メモリー登録（最大20ジョブ）が可能です。

PSX-56

PST-66 / PST-44 / PST-44L プレススタッカー

- 第1ローラでエアーを抜き、第2ローラで強力にプレスします。貼り付き防止の特殊加工をしたプレスローラを採用しているため、薄紙の折丁から16ページ折りの厚い折丁にも対応可能です。
- 任意の枚数に区分け搬出することができるため、作業効率が向上します。
- PST-44/44Lは最大幅470 mm、PST-66は最大幅690 mmの用紙に対応可能です。（区分けなしの時）
- PST-44Lは、搬出コンベヤをPST-44よりも300 mm延長しています。

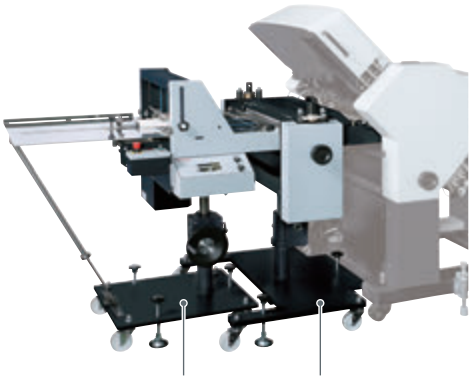
PST-66

PR-40S プレスローラユニット

- 省スペースながら強力なプレスにより、フラットでシャープな角の折丁に仕上げ、梱包時の作業効率を向上させます。

ED-40S 縦整列コンベヤ

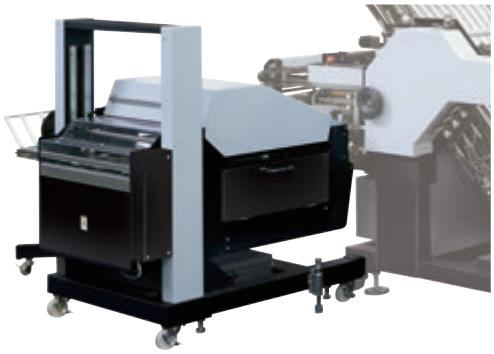
- 小物折りの製品を縦整列して搬出し、梱包時の作業効率を向上させます。
- 自動区分け機能による正確な計数管理が可能なため、梱包作業の負担を軽減します。



ED-40S　　PR-40S

MKU-54T モバイルナイフユニット

- ナイフ下にバックルを備えたナイフユニットです。幅 165 ～ 538 mm の用紙サイズに対応可能です。
- 8ページ折りの巻三つ折に仕上げることができます。



MKU-38 モバイルナイフユニット

- 幅90 ～ 380 mmの用紙サイズに対応可能です。
- ナイフユニットは回転式を採用しているため、折り下げと折り上げのどちらにも対応可能です。

T-564A / T-566A 自動設定バックルユニット

- T-564A (4 枚バックル) や T-566A (6枚バックル) を2番機として直角または平行に接続することで、対応可能な折形が飛躍的に広がります。
- 独立したカラータッチパネルを装備し、用紙サイズや折形を入力することでバックルが自動調整されます。

オプションユニット一覧

名　　称	型　　式	説　　明	備　　考
ロングコンベヤ	LCVV-56	紙折り機で動作を設定できます。	–
	LCV-54	紙折り機と連動せずに動作し続けます。	–
プレススタッカー	PST-44 / PST-44L	折丁をプレスしてスタックする装置 (プレス力：4,000 N) 用紙幅最大 470 mm コンベヤの長さを選択可能	接続ケーブル CMC-P5V15 必須
	PST-66	折丁をプレスしてスタックする装置 (プレス力：12,000 N) 用紙幅最大 690 mm	
パイル式プレススタッカー	PSX-56 / PSX-56R	DM、折丁、中綴じ冊子を確実にプレスし、積み重ねて搬出します。	接続ケーブル CMC-P4V 必須
折丁ブロック集積装置	BBS-40 / BBS-40L	折丁の天と地を糊で仮綴じする装置	接続ケーブル CMC-P5V15 必須
縦整列コンベヤ	ED-40S	搬出後の取扱い効率を向上させるため、小物折りを縦整列して搬送します。	接続ケーブル CMC-P3V 必須 ※ PR-40S に接続する場合不要
プレスローラユニット	PR-40S	折丁をプレスして搬出する装置 (プレス力：4,000 N)	接続ケーブル CMC-P3V 必須
モバイルナイフニット	MKU-54T	用紙をナイフで折る装置 (ナイフ下にバックルを 1 枚標準装備)	接続ケーブル CMC-P4V 必須
	MKU-38	折り下げ、折り上げのどちらにも対応できる省スペース型ナイフユニット	
自動設定バックルユニット (2番機)	T-566A / 564A	バックルユニットの追加で、折りのバリエーションを広げることができます。	接続ケーブル CMC-P3V 必須
インターフェースユニット	IF-EXD	Horizon 製品に対応した他社製後処理機との接続時に必要なユニットです。	オプションのセット替え連動対応ドングル (IF-EXD-P) は Horizon 製品に対応した palamides 社製後処理機の一部にのみ対応可能です。

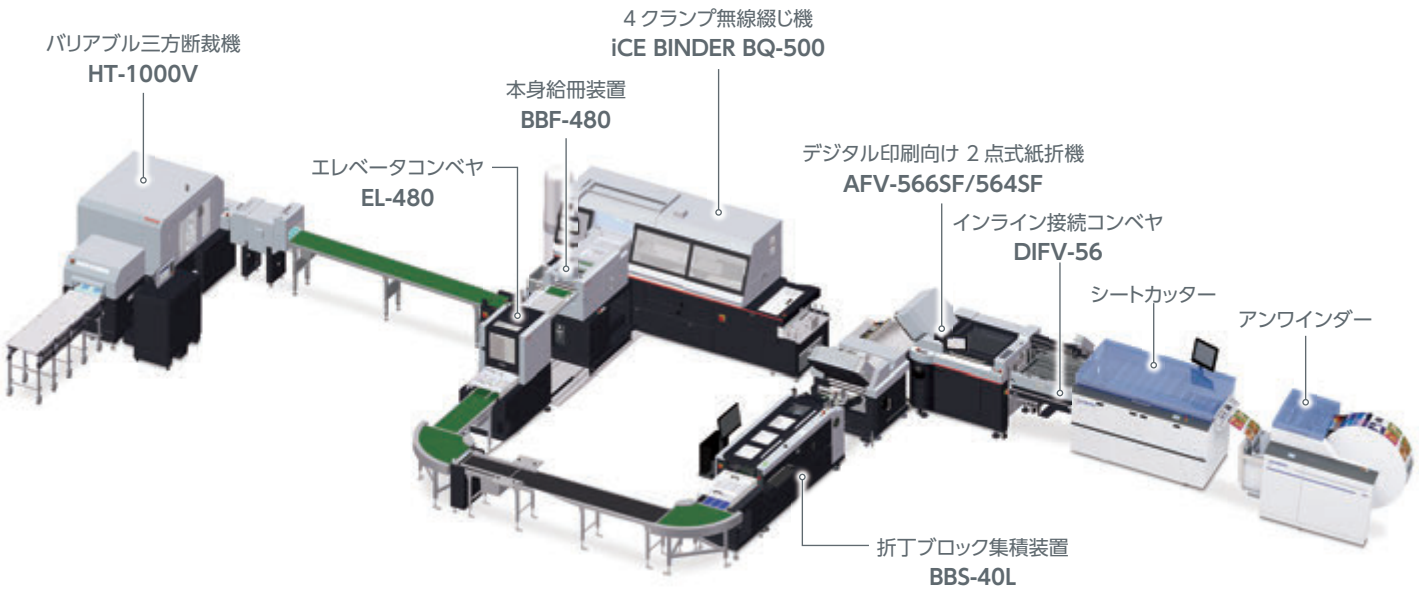
デジタル印刷向け書籍製本システムのご紹介

高速バリアブル生産が可能な Smart Binding System に接続可能

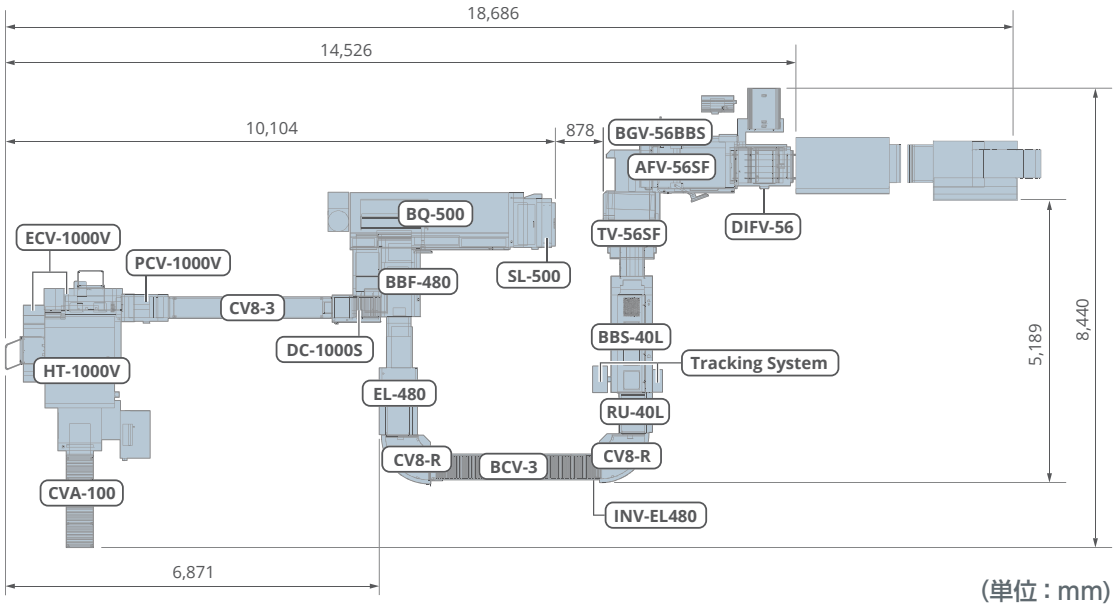
iCE FOLDER AFV-566SF/564SF

紙折機AFV-566SF/564SFとバックルユニットTV-566SF/564SFに無線綴じ機や断裁機を連結することで、デジタル印刷物のシートカットから本身の作成、製本、三方断裁までのインライン化が可能です。バリアブル生産に対応した自動製本システムにより、製本工程を省力化し、多品種少ロットの生産効率化を実現します。※ロール紙から給紙する場合は、オプションのDIFV-56が必要です。

下図はシステム構成例です。お客様の用途に応じてシステムの構成やレイアウトは異なります。



（上面図）

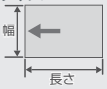


（単位：mm）

DIFV-56 インライン接続コンベヤ AFV-566SF/564SF オプション

- ロール紙から切り出した用紙をAFV-566SF/564SFに搬送します。ダイナミックフォールドバックルを装着している時は、バリアブルな用紙長さや折形に瞬時に対応します。

DIFV-56

DIFV-56	
用紙サイズ 	幅 × 長さ 最大 520.7 × 900 mm 最小 165.1 × 230 mm ※ ※給紙ロータ使用時のみ、最小長さ 140 mm。ただし、紙折機にポンプまたは集中エアー装置 AI-56V を接続する必要があります。
紙質	非塗工紙　40 ～ 250 gsm 塗工紙　50 ～ 232 gsm
ベルト速度	270 m/分　（紙折機本体と同期）
機械寸法	機械本体：幅 780 × 奥行 1,205 × 高さ 350 mm 退避台：幅 790× 奥行 610 × 高さ 320 mm

BBS-40 / BBS-40L 折丁ブロック集積装置 AFV-566SF/564SF オプション

- 折丁の天地を糊で仮綴じし、製本工程へ搬送します。オプションのトラッキングシステムで、用紙の集積前にコードを読み取ることで、ページ順を正しく保持し、信頼性と品質の高い生産を実現します。

  BBS-40L：CBF-SB、BBF-480、LBF-500と接続時 / BBS-40：BBF-SBと接続時

トラッキングシステム

各部のバーコードリーダによってバーコードを読み取り、ジョブIDや総ページ数、ページ順を検証した後、本身と表紙の整合や、本の通過を検証します。検証結果の履歴は、トラッキング用のパソコンで確認することができます。

選別装置
RU-40

BBS-40 / BBS-40L		
折丁サイズ		幅 × 長さ 最大 385 × 275 mm 最小 148 × 105 mm
折丁 / 冊子厚さ	最大 2 mm　最小 0.2 mm	
パイル高さ	最大 80 mm　最小 2 mm	
排紙高さ	BBS-40：900 mm / BBS-40L：700 mm	
処理速度	プレスローラ速度：50 ～ 160 m/分 糊付け搬送部速度：30 ～ 80 m/分 搬出コンベア速度：20 ～ 40 m / 分 入紙処理速度：最高 16,000 枚/時（※） 区分けサイクル：最高 2,000 束/時	
プレスローラ本数	空気抜きローラ×1, プレスローラ × 1	
電源	単相 200-240V, 50 / 60 Hz	
消費電力	単相 200-240V, 50 / 60 Hz, 580 W	
機械寸法	BBS-40：幅 2,910 × 奥行 830 × 高さ 1,135 mm BBS-40L：幅 2,910 × 奥行 830 × 高さ 935 mm	

※入紙処理速度は折丁サイズによって変化します。最高速度の目安は下記の通りです。ただし、紙質や環境の条件で変わります。そのため、それぞれの折丁の入紙速度を保証するものではありません。
折丁サイズ：入紙処理速度
A6: 最高 16,000 枚 / 時
A5: 最高 15,000 枚 / 時
A4: 最高 12,000 枚 / 時
最大：最高 7,000 枚 / 時

製品仕様

システム構成例 (単位 : mm)

柔軟なユニット構成で
多彩な折形に対応します。

	商品構成	バックル枚数	自動化	フィーダ	iCE LiNK 対応
1番機	AFV-566SF	6	フルオート	フラット	標準仕様
	AFV-564SF	4	フルオート	フラット	標準仕様
	AFV-566SA	6	セミオート	フラット	オプション
	AFV-564SA	4	セミオート	フラット	オプション
2番機	TV-566SF	6	フルオート	-	標準仕様
	TV-564SF	4	フルオート	-	標準仕様
	TV-566SA	6	セミオート	-	オプション
	TV-564SA	4	セミオート	-	オプション

※納入後のバックル枚数、自動化レベルの変更はできません。

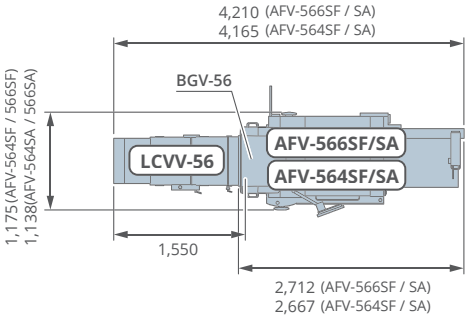
構成1

■ 平行 1 点式

平行バックルでチラシやカタログなどの折りが省スペースで行えます。

AFV-56Sシリーズ + LCVV-56

上面図



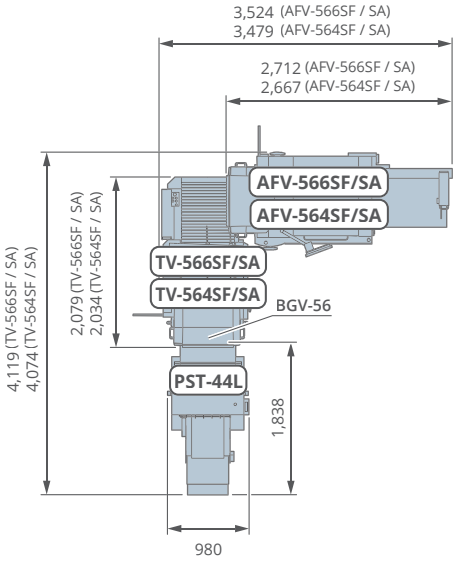
構成2

■ 直角2点式

バックルユニット２点を直角にレイアウトし、DM折りや複雑な折りに対応します。厚紙や印刷のイメージ割れが起こりやすい印刷物には１点目で筋を入れ、２点目で折り加工をすることで高品質な折り精度を実現します。

AFV-56Sシリーズ + TV-56Sシリーズ + PST-44L

上面図



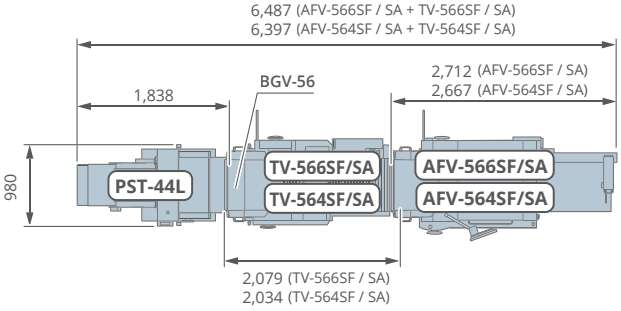
構成3

■ 平行 2 点式

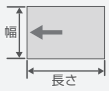
バックルのユニット２点を直線にレイアウトし、最高 12 枚のバックルを使用することで複雑なジグザク折りなどに対応します。

AFV-56Sシリーズ + TV-56Sシリーズ + PST-44L

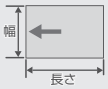
上面図



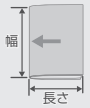
AFV-56S / TV-56S シリーズ

機械構成	1番機(AFV-56S) AFV-566SF/SA：6枚バックル，AFV-564SF/SA：4枚バックル
	2番機(TV-56S) TV-566SF/SA：6枚バックル，TV-564SF/SA：4枚バックル
用紙サイズ	 幅×長さ 1番機(AFV-56S) 最大560※1×900 mm※2 最小128※3×148 mm ※1 くし形バックル（B-56C）取付時 558 mm ※2 ロングテーブル（オプション）取付時：長さ 1,100 mm ※3 小サイズ給紙キット（オプション）取付時：幅 105 mm 2番機(TV-56S) 最大560×560 mm※4 最小50×105 mm※4 ※4 条件（紙質・折形・紙目の方向）により、仕様内であっても1番機と2番機間の受け渡しができない場合があります。
紙質	非塗工紙　40～250 g/㎡　塗工紙　50～232 g/㎡
ベルト速度	30～270 m/分
処理速度	サクションヘッド 36,000 サイクル/時
バックル折長さ	1番機(AFV-56S) 第1・2・3・5バックル 櫛：30～450 mm，ストレート：35～450 mm 第4・6バックル 櫛：30～330 mm，ストレート：35～330 mm
	2番機(TV-56S) 第1～6バックル 櫛：30～330 mm，ストレート：35～330 mm
電源	AFV-566SF，566SA，564SF，564SA：3相 200 V，50 / 60 Hz
	TV-566SF，566SA：3相 200 V，50 / 60 Hz
消費電力	AFV-566SF，566SA，564SF，564SA： 3相 200 V，50 / 60 Hz，3.2 kW
	TV-566SF，566SA，564SF，564SA： 3相 200 V，50 / 60 Hz，590 W
機械寸法	AFV-566SF：幅2,715×奥行1,180×高さ1,530 mm AFV-566SA：幅2,715×奥行1,140×高さ1,530 mm AFV-564SF：幅2,670×奥行1,180×高さ1,530 mm AFV-564SA：幅2,670×奥行1,140×高さ1,530 mm
	TV-566SF/SA：幅2,080×奥行1,110×高さ1,370 mm TV-564SF/SA：幅2,035×奥行1,110×高さ1,415 mm

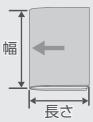
LCVV-56

用紙サイズ	 幅×長さ 最大 560×470 mm 最小 100×50 mm
電源	DC24V 紙折機コネクタより供給
機械寸法	最大 幅1,550×奥行705×高さ1,080 mm 最小 幅1,220×奥行705×高さ780 mm

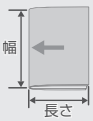
PR-40S

折丁サイズ	 最大幅 400 mm，最小幅 30 mm 最小長 25 mm※ ※ 25 mm以上であっても折丁の開き具合によっては搬送および前後処理機との受け渡しができない場合があります。
折丁厚さ	最大 3 mm
ベルト速度	30～180 m/分
プレスローラ本数	プレスローラ×1
電源	単相 200～240 V，50 / 60 Hz
機械寸法	幅791×奥行657×高さ1,066 mm

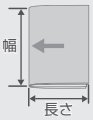
ED-40S

折丁サイズ	 最大幅 400 mm 最大長さ 150 mm 最小幅 30 mm 最小長さ 20 mm※ ※ 20 mm以上であっても折丁の開き具合によっては搬送および前処理機と本機間で受け渡しができないことがあります。
折丁厚さ	最大 3 mm
スタック量	最大 395 mm 最小 5 mm
ベルト速度	30～160 m/分
電源	単相 200～240 V，50 / 60 Hz
機械寸法	幅982×奥行624×高さ1,153 mm

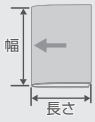
PST-44 / PST-44L

折丁サイズ	 最大幅 区分けあり：440 mm 区分けなし：470 mm （いずれの場合も補助ベルト部は380 mm） 最小長さ：50 mm（補助ベルト部使用時）
折丁厚さ	最大 4 mm
プレスローラ速度	30～180 m/分
区分け量	30 mm
プレスローラ本数	エアー抜きローラ×1，プレスローラ×1
電源	3相 200 V，50 / 60 Hz
機械寸法	PST-44：幅1,845×奥行980×高さ1,359 mm
	PST-44L：幅2,145×奥行980×高さ1,359 mm

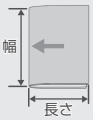
PST-66

折丁サイズ	 最大幅 区分けあり：660 mm 区分けなし：690 mm （いずれの場合も補助ベルト部は380 mm） 最小長さ：50 mm（補助ベルト部使用時）
折丁厚さ	最大 4 mm
プレスローラ速度	30～180 m/分
区分け量	30 mm
プレスローラ本数	エアー抜きローラ×1，プレスローラ×1
電源	3相 200 V，50 / 60 Hz
機械寸法	幅2,145×奥行1,159×高さ1,359 mm

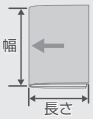
PSX-56 / PSX-56R

折丁サイズ	 幅×長さ 最大 546 x 330 mm 最小 128 x 92 mm
折丁厚さ	最大 4 mm
スタック量	最大 200 mm　最小 10 mm
処理速度	最高900束/時 （搬送爪が停止することなく繰り返しパイルを搬出し続ける状態）
プレスローラ本数	エアー抜きローラ×1，プレスローラ×1
電源	3相 200 V，50 / 60 Hz
機械寸法	幅2,120×奥行2,280×高さ1,080 mm

MKU-54T

折丁サイズ	 幅×長さ 最大 538×350 mm 最小 165×80 mm
ベルト速度	50～180 m/分
搬送すき間	折りローラ部　最大2 mm ※A4中綴じ冊子を巻き三つ折りする際の目安 上質紙81 g/㎡（四六判70kg）3枚（12ページまで） 上質紙64 g/㎡（四六判55kg）4枚（16ページまで）
バックル折長さ	60～150 mm（手動）
電源	単相 200 V，50 / 60 Hz
機械寸法	幅860×奥行1,100×高さ1,280 mm

MKU-38

折丁サイズ	 幅×長さ 最大 380×280 mm 最小 90×20 mm
ベルト速度	30～180 m/分
搬送すき間	折りローラ部　最大 4 mm
電源	単相 200～240 V，50 / 60 Hz
機械寸法	幅685×奥行858×高さ1,283.5 mm

※用紙の種類や使用環境が、精度に影響を及ぼす場合があります。

MORE AT
HORIZON.CO.JP

Horizon

ホリゾン・ジャパン株式会社　www.horizon.co.jp

本　　社　〒101-0031 東京都千代田区東神田2-4-5 東神田堀商ビル5F
TEL. 03-3863-5361 (代)　FAX. 03-3863-5360

東 京 支 社　〒132-8562 東京都江戸川区松江5丁目10-9
TEL. 03-3652-7631 (代)　FAX. 03-3652-8083

京 都 支 社　〒601-8206 京都府京都市南区久世大藪町510
TEL. 075-933-3060 (代)　FAX. 075-933-4025

福岡営業所　〒813-0034 福岡県福岡市東区多の津4-12-17
TEL. 092-626-8111 (代)　FAX. 092-626-8112

仙台サービスセンター　〒984-0002 宮城県仙台市若林区卸町東1-7-31
TEL. 022-782-2821 (代)　FAX. 022-782-3068

＊ このカタログの記載内容は、2025 年 5 月現在のものです。
＊ 安全にお使いいただくために、ご使用の前にユーザーズマニュアルをよくお読みの上、正しくご使用ください。
＊ 製品の仕様・外観は、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
＊ 環境や条件により、仕様が変動することがあるため、十分な事前確認の上でご使用ください。

250515/CT00008-00